

令和6年度 名水小学校 学校関係者評価書

※評価基準 4:とてもそう思う 3:そう思う 2:あまり思わない 1:思わない

I 知育(かしこく)

	評価項目	評価	児童 (9)	保護者 (8)	教職員 (5)	学校の自己評価(○成果 ●課題)	次年度の手立て	学校運営協議会委員・評価コメント
学習指導	1 学校は、「わかる」「できる」授業を行い、学習内容を定着させ、学力を向上させてようとしている。	4	5	4	0	○校内研修で、「児童一人一人の実態に応じた指導の工夫」について考え、実践を積み重ねることができた。複式授業のため、授業中の学習指導が難しい面もあるが、個別の実態を把握して、指導を行った。 ○少人数のために、学力向上の全体的な傾向を掴むことは難しいが、おおむね基礎的な学習内容は定着しつつある。 ●児童が受け身の学習になっている様子が見られる。主体的に取り組めるような工夫が必要である。(家庭学習も含めて)	・成果をより上げるために、今後も児童一人一人の実態から見える課題を明確にし、その実態に対する工夫・改善を校内研修をとおして、職員全体で共通実践していく。 ・教師の指導力向上を図るために、県や市主催の研修だけでなく、校内においても教師の相互授業参観を実施する。 ・研修や教育委員会の指導主事より指導を仰ぐ機会を設ける。 ・児童にも県教委が推進する「ひなたの学び」について意識させ、授業に「主体的に」取り組むことの重要性を理解させる。	・少人数を利点とした学習指導は大変良い事だと思います。次年度も継続して頂きたいと思います。 ・主体的に取り組むことが出来るようにご指導お願いします。
		3	4	4	3			
		2	0	0	1			
		1	0	0	0			
	2 児童は、学年の学習内容(基礎・基本)が定着して(高まって)いる。	4	2	2	1			
		3	5	5	2			
		2	0	1	1			
		1	1	0	0			
	3 教師は、タブレット等を活用し「わかる」「できる」授業をしている。	4	6	3	3			
		3	3	5	1			
		2	0	0	0			
		1	0	0	0			
	4 児童は、家庭や放課後子ども教室で宿題をする等、家庭学習の習慣が身に付いてきている。	4	6	2	0			
		3	2	4	4			
		2	0	2	0			
		1	1	0	0			
図書館教育	5 児童は、学校の図書館で借りた本やその他の本を読む時間や機会が増えている。	4	4	2	1	○読書月間には、宿題を出さず読書行う曜日を設定し、読書の機会を増やすことができた。 ●ふくろう号の利用が少なくなってきたため、声掛けを行っている。 ●家庭での読書を進めたり学校生活で読書に触れる機会を増やしたりしていきたい。	・読書月間の取組を継続させる。また、ふくろう号の活用を含め、家庭で読書に触れる機会を増やすことのメリット等を学校から家庭に発信する。	・宿題を出さず、読書を行う曜日を設定するのは、ユニークな試みだと思います。 ・読書することで学べる事が多々ある。人への接し方、文言、漢字の学習等。デジタル化が進み、辞書を引くことも減ってきているので、読書を通して学習意欲につながれたらと思う。
		3	2	3	2			
		2	3	3	1			
		1	0	0	0			

2 徳育(やさしく)

基本的な生活習慣	6	児童は、「おはよう」「いただきます」等の家庭でのあいさつのほか、家庭外でもしている。	4	9	5	2	○ 朝や帰りの挨拶などは、とても元気にできている。 ● 給食時の「いただきます。」「ごちそうさまでした。」を徹底させたい。	・教職員が挨拶の手本となるように率先垂範に努める。	・本校の子ども達は、挨拶はよく出来ていると感じています。 ・あいさつは家庭での習慣、定着が一番大事ではないか。 ・1年生が止まって挨拶できるようになった。
			3	0	2	3			
			2	0	1	0			
			1	0	0	0			
生徒指導	7	学校は、教育相談などとおして、児童理解に努めている。	4	9	5	2	○ これからも、毎月初めの「なかよしアンケート」を行い、児童の困り感や思いに寄り添っていきたい。 ○ 1年生を新しく迎えたことで、学校が落ち着かなかったが、全体指導や学級活動で、お互いに理解ができるようになった。上級生は優しくなり、1年生は素直に話が聴けるようになった。	・「なかよしアンケート」の結果を全職員で理解するための時間(ハートフル委員会)を継続させていく。	・上級生が1年生等に優しくなることは素晴らしい事だと思います。
			3	0	3	2			
			2	0	0	0			
			1	0	0	0			
思いやりの心・責任感	8	学校は、道徳や学級活動、学校行事等とおして、児童の思いやりの心(幸動)を育てている。	4	5	4	1	○ 自分の幸動を決め、自覚して行動している様子を見ることができた。 ● 地域の方やジョイスポーターさんには、たくさんお世話になっているが、感謝の気持ちが薄いような気がしている。	・道徳における、主として自分自身に関すること、人との関わりに関する内容において特に、「努力と強い意志」「感謝」の心を育む授業を推進する。また、実際に行動してきたときは大いに称賛する。	・ジョイスポーターさんには本当に感謝致します。 ・地域の方、ジョイスポーターさんへの感謝の気持ちをもちとお伝えするべきではないか。
			3	3	4	4			
			2	1	0	0			
			1	0	0	0			
	9	児童に、最後まで責任をもって取り組もうとする態度が身について(高まって)きている。	4	5	2	1	● 少人数で全員で取り組むことが多く、一人が何かを最後まで責任をもって取り組む場面が少ないように思える。その中でも、6年生は、最高学年と思える行動がとれているのではないかな。	・来年度の6年生も最高学年としてのリーダー・手本となるように現時点から意識を高め、育成を図る。	・6年生は大変頼もしくなってきたと感じます。
			3	3	4	4			
			2	0	2	0			
			1	1	0	0			

3 体育(たくましく)

体力づくり	10	児童の体力が向上したと感ずる。	4	4	4	1	○ 体力テストの結果をもとに、個人の課題を確認した。その課題の解決に向けて、授業や昼休みに活動をしている。 ● 全体として体力テストの数値の底上げが必要。特に、県平均に達していない種目。	・体育の授業前に行う、サーキットトレーニングの徹底・継続。 ・体力を向上させる取り組みを授業外でも行う。(帰りの会の時間など)	・人数が少ないので平均的な数字は出にくいと思いますが、今後も体力向上の取り組みをお願いします。 ・少人数のため、成立しないスポーツもある。
			3	4	3	3			
			2	1	1	1			
			1	0	0	0			
安全指導	11	学校は、安全な教育環境づくりと児童の「危機回避意識」の効用に努めている。	4	7	3	1	○ 毎月の安全点検と日常点検を行い、劣化等による危険箇所があった場合は、すぐに対応し、職員間で共有した。毎月1回以上行っている避難訓練では、子ども教室サポーターの方や保護者と一緒に実施することができた。毎回、振り返りシートで児童が自身の行動を振り返ることができた。	・毎月の安全点検と日常点検、速やかな対応・計画的な諸訓練を今後も継続して実践する。	・現状において、避難訓練は大変重要だと感じています。今後も訓練や安全、日常点検をお願いします。 ・今年度、避難訓練に参加できたことは、とても良かった。 ・登下校時の避難の仕方も家庭で話したりするが、実際に歩いて確認するのも良いと思う。
			3	1	5	4			
			2	1	0	0			
			1	0	0	0			
健康教育	12	児童は、「早寝・早起き・朝ごはん」の実践を含め、健康に関する望ましい態度や習慣が身に付いてきている。	4	6	1	1	● 週明けや長期休業明けは、生活リズムが乱れている様子がある。	・冬期休業中の課題で出したような、児童自身が自分の生活リズムを振り返ったり見直す機会を今後も継続して設けたい。	・1月末より大変な寒さが続いており、児童も大変だと思いますが、ご指導をお願いします。
			3	1	5	4			
			2	2	2	0			
			1	0	0	0			

4 連携(つなぐ)

地域交流	13	学校は、保護者や地域住民の思い(学校運営協議会や懇談等での協議や各種調査)をもとに、教育活動を実施しようと努めている。	4	6	5	2	○6月に実施した拡大熟議「ふれあいネットワーク会議」では29名の参加をいただき「名水っ子の成長・学校の発展のために地域住民としてできることは?」「地域・地域の方々のために名水っ子・学校ができること・してほしいことは?」の2テーマで活発な意見交換が行われた。そして、出された意見から、下の3つを新たな取組として実践することができた。 ①地域の伝統芸能や昔の遊び「やとまかせ」の継承(講話→太鼓練習→踊り練習)、風作り・風あげ ②給食試食会 ③地域の方々へのグラウンド開放(グラウンドゴルフ) ●コミュニティ・スクールを広く知っていただくためにも、地域の方々が学校に足を向けやすくなるような取組を行う必要がある。 ●教職員は、更に情報発信に努める必要がある。	・次年度も拡大熟議を実施する。熟議のテーマについては、保護者や地域の方々にとったアンケートを取ってもよいのではなかろうか。 ・熟議で終わることがないように、熟議から出された内容を実践につなげるように努める。 ・来年度は運動会のあり方・内容について、一新する計画があるので、地域の方々とも連携を図りたい。 ・来年度も通信やHP等で積極的な情報発信を行う。	・「ふれあいネットワーク会議」などで、皆んなで熟議することは、大変良い事だと思います。 ・本年は、児童・先生・保護者・地域と大変良い交流が出来たと感じます。 ・給食試食会やグラウンド開放など、今年初めての試みで、多くの地域の方々の参加があった。 ・子どもたちや学校に地域の方々に関心を寄せてくれて嬉しい。 ・教職員の方々も異動で初めての地域で慣れないことも多い中、とても協力的で、地域の方々とも積極的に関わろうとして下さり感謝です。 ・HPは大変良かった。継続させてほしい。 ・次年度は、更に皆んなで考え、取り組んでいければと思います。 ・昨年度、授業の一環だったと思いますが、校区内を数日に分けて探検し、その場で出会った方々とお話したり、卓球に参加させてもらったりとコミュニケーションを取る機会がありました。グラウンド開放を継続しつつ学校側からも出向く機会を増やしても良いのでは。どうしても校区内は高齢者が多いので。
			3	3	3	3			
			2	0	0	0			
			1	0	0	0			
情報発信	14	学校は、学校参観や各種便り、HP等で家庭や地域へ積極的な情報の発信をしている。	4	7	6	1	○諸学校行事の他、メヒカリ・干物作り体験(漁協)や働くくるま観察(クロキ)、地震・津波を想定した避難訓練等、地域の方々のご協力のおかげで実施することができた。 ●授業に地域人材や素材を更に取り入れることができるように、今後も地域と連携を図っていく必要がある。	・地域人材や素材を計画的に活用することができるように、予め、年間指導計画内に明記しておく。	
			3	2	2	1			
			2	0	0	2			
			1	0	0	1			
人材活用	15	学校は、地域人材や地域の素材等を授業に取り入れている。	4	6	5	2	○諸学校行事の他、メヒカリ・干物作り体験(漁協)や働くくるま観察(クロキ)、地震・津波を想定した避難訓練等、地域の方々のご協力のおかげで実施することができた。 ●授業に地域人材や素材を更に取り入れることができるように、今後も地域と連携を図っていく必要がある。	・地域人材や素材を計画的に活用することができるように、予め、年間指導計画内に明記しておく。	
			3	3	3	1			
			2	0	0	2			
			1	0	0	0			

校長所見(次年度の方向性について)

延岡市の目指す「幸動」する児童(自他の幸せのために学び行動する子ども)を育成するため、「心身ともにたくましく、創造性豊かに考え、生き生きと学び続ける児童の育成」という教育目標のもと、4つの重点内容「①知育(かしこく)、②徳育(やさしく)、③体育(たくましく)、④連携(つなぐ)」を職員に意識させ、実践してきた。

保護者や地域の方々のご理解・ご協力のもと、地域や関係機関との「④連携(つなぐ)」に関しては児童と保護者からの評価目標を達成することができた。一方、「①知育(かしこく)」においては、学年の学習内容の定着、家庭学習の習慣、家庭での読書に関する項目、「②徳育(やさしく)」においては、責任感の高まり、「③体育(たくましく)」においては、体力の向上と家庭における健康習慣の項目で十分な評価を得ることができなかったため、職員の指導力向上や各種啓発活動等、一層の改善策を講じる。

次年度は、学力や体力の向上はもとより、地域や関係機関との「④連携(つなぐ)」をさらに意識し、ふるさと延岡(本校区)に関する意識や誇りを高める活動をとおして、「幸動」する児童の育成を目指し、保護者や地域の信頼を得られるよう、全職員協働による教育活動に取り組み、健全な児童を育む教育を推進する。